



シルバーだより

No. 335
平成30年7月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 35周年を契機に地域力をつけよう —

学長代行 望月 公子

今年度は荒川シルバー大学の35周年にあたります。役員会の中の広報部では、毎月の「シルバーだより」を作りながら「35周年記念誌」の発行準備もしています。9月完成、12月配布を目標にしていますので皆様楽しみにして下さい。詳細は教室代表からお聞き下さい。

事務局からの情報では、今年度は60歳から98歳という幅広い年齢層の学生が延べ約1380名在籍しています。これだけの規模と歴史を持った高齢者の学習のための組織は、日本はおろか世界にもありません。しかも、企画運営は荒川区民である学生の手で行われているということは、耳目にあたります。ここまで育て上げてこられたのは、学びたいという思いの強い学生達のパワーですし、今後引き継ぐのもまた学生の皆さんです。



シルバー大学は、入学と同時に39教室のどれかと、住所によって東日暮里地区・西日暮里地区・南千住地区・荒川地区・町屋地区・東尾久地区・西尾久地区に所属します。学生の皆さんは、ご自分で選んだ教室と自動的に入っている地区の両方を支えています。更に、教室代表・地区長・地区班長・副班長、計100名程の方々が様々な行事のお世話を下さっていますので、時々励ましの声を掛けていただけると有りがたいです。

講義への行き帰りの道で学生たちが語り合いながらゆったりと歩いているのに出会いますが、仲間に入れて欲しくなるほど楽しそうです。尋ねますと大抵は同じ地区の学友が誘い合っているということです。個を大切にしている教育が進められている現代社会の中では、他者への関りが薄くなってきているようで寂しく思える中、下町の助け合い、優しさや思いやりが自然とあふれ出しているシルバー大学の交友風景は、本当に素晴らしいものです。

因みに荒川区民のうち65歳以上の高齢者は約5万人、シルバー大学50校分です！！後期高齢者だけでも約2万5000人、25校分です！！つまり私達が元気で何かをすることが荒川区に貢献することになるのだと思うのです。

今後の課題としては、地域活動が更に魅力あるものとして成長できるように皆さんからの意見を寄せて頂けることをお待ちしております。

《《 今と昔の町歩き教室を振り返って 》》

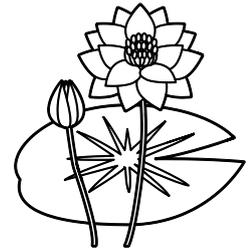
今と昔の町歩き教室前講師助手 齊藤 弘子

皆様ご機嫌よろしゅうお過ごしですか？

今年度も無事に開講・入学式を迎えられましたことお祝い申し上げます。

平成 29 年度の閉講・卒業式では、ご厚志賜りましたこと、感謝申し上げます。最後の教室で望月先生から「寂しくならない？」と聞かれました。私は、「ホッとしています」と答えましたが、今は忘れ物をしたような気がしています。

『山の会』で望月先生とお会いして、シルバー大学とのご縁が出来ました。平成 21 年のことです。外歩きで一番心掛けていたことは、『安全第一』でした。全員、保険にも加入しました。8 年間大きな事故もなく過ごせたことに感謝しています。私が同行した初めてのバス旅は、谷川岳でした。天神平駅からリフトで天神峠へ。谷川岳の頂上部は二つあり、猫の耳のように見えるので双耳峰（トマの耳・オキの耳）が見られたことなど、はっきりと覚えています。



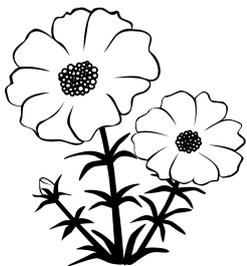
一番の思い出は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災です。その日、国立演芸場にお笑いを聴きに行っていました。交通が止まり帰宅できなくなりました。約半数の方は、徒歩で帰宅されましたが、足腰に不安のある方は劇場のロビーに一泊し、翌日帰宅しましたが、全員無事でした。

また、等々力溪谷では増水中の八沢川にボチャン、ずぶぬれになった事も。白駒池では木道の継ぎ目を恐る恐る歩きとおした事等。皆様に楽しんで頂けたと思います。皆様のご健勝と荒川シルバー大学のご繁栄を祈念申し上げます。

ありがとうございました。

《《 気功教室・野外教室に参加して 》》

気功教室の野外教室が 5 月 11 日 11 時より荒川自然公園ふれあい健康広場で開催されました。前日までの天候とは異なり爽やかな 5 月の風に乗った楽しい教室でした。講師の原先生にご挨拶して「爽やかな日ですね」と申し上げましたら、「私、晴れ女なんですよ」と。五月晴れにぴったりな笑顔のご挨拶を頂きました。



気功教室の学生さんに混じって、楽しい源氏物語教室の中山先生や事務局長の瀧澤さんなど何名かの方々が参加していました。自然公園へ向かう幼いお子さんの集団が居ましたが、公園の中へ入ってまたビックリ。公園のあの広い各広場が子供達であふれており、それはそれは賑やかなことでした。

私は足が痛くて、引き返そうかと思いつながらの参加でしたが、原先生ご夫妻のご指導を頂き、逆腹式呼吸や気功の練功を最後まで頑張り、痛みも少し薄らいだように感じました。

来年は是非教室に入れて頂きたいと思っていましたが、気功教室は金曜日に変更になっていましたので、残念残念。また機会がありましたら参加したいと思います。

(広報部 高山 順子)

【 昭和の記録 】

◎平成 22 年に第二代理事長故秋山照子先生から、「現在荒川シルバー大学に在籍している学生さんに『昭和の記録』として、戦争の話・空襲の話・戦後の混乱期に苦労した話などの記憶を書いて頂き、それを後世に残しましょう」というお話が来ました。

その年 60 名の方が投稿して下さり、平成 25 年に冊子として作成し貸し出しを行いました。今回は、その中から 2 編を掲載致します。

尚、今後も原稿の募集をしていきますので、皆様の記憶の中にある『昭和の記録』を是非次世代へ伝えるべく、多くの方の寄稿をお待ちしています。

— 字数・形式 自由です —

(広報部)

《《 疎 開 》》

当時、私が縁故疎開で父の故郷の静岡県掛川に居た時の事です。久しぶりに東京から父が陣中見舞いと称して来訪していて、翌日には浜松の伯父の家に行く予定でした。伯父一家は東京から開拓団として浜松飛行場の近くに移植しておりました。当日は一家団欒で楽しく夕食をして、東京の話題などで盛り上がった事を覚えております。翌日朝早く、父が浜松へ向けて列車にりましたが、途中、艦載機による機銃掃射で攻撃され、全員避難で命からがら掛川に戻ってきました。

後日聞いた話ですが、伯父の一家 4 人（伯父、伯母、従兄妹）は艦砲射撃で全滅してしまったそうです。翌々日、父が浜松へ行ってきましたが、跡形もなかったそうです。当時私は 10 歳で小学 3 年生でしたので、記憶としては定かではありませんが、悲しい出来事だった事とは認識しております。

終戦記念日が近くなると思い出します。

(平成 22 年 8 月 記 3 班 矢田 明)

《《 戦中の思い出 》》

昭和 19 年 3 月女学校卒業と同時に女子挺身隊として、南は沖縄、北は秋田他、各県から同じ女子挺身隊としてそれぞれ職場につきます。幸い私は用度課として事務所勤務でした。警報が鳴るたび、大きなリュックに書類を入れ防空壕に入る毎日でした。20 年 3 月 9 日夜 11 時頃残業を終え帰宅したのと同時に空襲警報が鳴り、近くの広場へ避難し、夜空はサーチライトの光で昼間のような明るさの中、焼夷弾が雨のように降り、近くの私が学んだ小学校、遠くの高校、都の材木置き場などが、アッという間に焼け落ちました。



解除になり、幸い私の家も周りの家々も無事で、明け方 2 階から浅草方面を見ると焼け野原の中、五重の塔だけがかすかに目に映りました。残務整理のため、翌 21 年の 3 月まで職場に残り、その後は食糧難と闘いながらの生活でした。

その年（昭和 21 年）の 5 月に兄の戦死の報を受けました。

(平成 22 年 8 月 記 17 班 椎根 八重子)

～～ 35周年記念誌作成に関して ～～

6月より記念誌のアンケートにご協力頂きましてありがとうございます。現在編集委員が総力を挙げて集計しております。

都合が悪く、お教室でアンケートを提出できなかった学生の方は、事務所前の箱にアンケート用紙が置いてありますので、ご記入の上、事務所内のアンケート回収箱へお入れ下さい。

アンケート並びに原稿の最終締め切りは、7月30日の役員会の日になりますのでよろしくお願い致します。

皆様のご協力に感謝致します。 (編集委員長 水越 絹代)



❀ 8月の「シルバーだより」はお休みとさせていただきます ❀

◆◆◆ 学 園 日 誌 (6月) ◆◆◆

- | | |
|--|--|
| 6日 常任委員会・役員会
29年度決算報告
30年度予算報告
監査報告 | 22日 第二回合同講義 (サンパール荒川)
誰もが輝く地域社会を目指して
東京都特別区長会会長・荒川区長
西川太一郎様 |
| 6日 安全保険料集金 | 25日 学園祭打ち合わせ (ムーブ町屋) |
| 11日 合同講義打合せ | 26日 広報部 35周年記念誌に関する作業 |
| 19日 広報委員会・編集委員会 | 28日 シルバーだより335号作成 |

※事務局だより※

1. 講師会について

日時：7月20日(金) 午後1時～3時

会場：生涯学習センター 三階 大会議室

2. 8月の常任委員会・役員会について

日時：常任委員会 7月30日(月) 午前9時30分～

役員会 " 午前10時30分～12時

学園祭の打ち合わせを行います。

教室代表・地区役員の方全員のご出席をお願い致します。



◆街なか避暑地について：生涯学習センター内でどうぞ！

7/1～9/30まで生涯学習センターを避暑地としてご利用いただけます。

◆夏季休暇について：8月10日(金)・13日(月)～17日(金)、事務所はお休みとなります。御用の方は20日以降にお願い致します。

TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長・田原